



## 2021年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年7月13日

上場会社名 株式会社 Olympicグループ 上場取引所 東  
 コード番号 8289 URL <http://www.olympic-corp.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木住野 福寿  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 木村 芳夫 TEL 042-300-7200  
 四半期報告書提出予定日 2020年7月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年2月期第1四半期の連結業績（2020年3月1日～2020年5月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年2月期第1四半期	29,894	18.0	1,578	433.1	1,525	510.0	1,031	673.1
2020年2月期第1四半期	25,324	△3.6	296	120.5	250	135.9	133	123.6

(注) 包括利益 2021年2月期第1四半期 1,007百万円 (644.2%) 2020年2月期第1四半期 135百万円 (△7.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年2月期第1四半期	44.90	—
2020年2月期第1四半期	5.81	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年2月期第1四半期	70,678	24,372	34.5	1,061.01
2020年2月期	66,611	23,710	35.6	1,032.16

(参考) 自己資本 2021年2月期第1四半期 24,372百万円 2020年2月期 23,710百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年2月期	—	—	—	15.00	15.00
2021年2月期	—	—	—	—	—
2021年2月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 2021年2月期の配当予想につきまして、業績予想の算定が可能となった段階で速やかに公表します。

### 3. 2021年2月期の連結業績予想（2020年3月1日～2021年2月28日）

現時点では新型コロナウイルス感染症の感染拡大による業績への影響を合理的に算定することが困難であることから、2021年2月期の業績予想の公表を未定とさせていただきます。新型コロナウイルス感染症の収束に関する見通しがつき、業績への影響が適正に予測することが可能となった時点で速やかに公表いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年2月期1Q	23,354,223株	2020年2月期	23,354,223株
② 期末自己株式数	2021年2月期1Q	383,003株	2020年2月期	383,003株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年2月期1Q	22,971,220株	2020年2月期1Q	22,971,220株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は今後の様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】2ページ

「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	4
第1四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	5
第1四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2020年3月1日から2020年5月31日まで)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、2020年4月7日に発令されました緊急事態宣言による営業活動の制限や、不要不急の外出自粛要請等により過去に類を見ない経済状況が続きました。

小売業界におきましては、全国小中高校の臨時休校要請や、各企業が積極的に在宅勤務やシフト勤務を推進したことによる、新たな生活形態から巣ごもり需要が生まれるなど、消費行動には大きな変化がみられました。

このような状況の中、当社グループにおきましては、地域社会のライフラインを守るために、安定した商品供給に努めてまいりました。

また、当社グループ店舗等を通じた感染症拡大を防止するために細心の注意を払いながら、お客様への安全・安心はもとより、従業員の健康面にも配慮して、密集を避けるための販促活動の自粛や、一部店舗では営業時間の短縮を行いました。さらに、従業員のマスク着用と手指消毒の徹底だけでなく、お客様用の手指消毒用器具やレジの飛沫防止シートの設置、排気ファンを常時稼働させて店内の換気に努めるなど、感染防止対策を徹底してまいりました。

一方で従来からの、チラシに頼らず毎日お求めやすい価格で商品をご提供し続けるEDLP政策は継続してまいりました。

食品事業では店舗規模に応じた商品構成への転換を進め、ディスカウント事業においても日用必需品を中心とした品揃えで、季節や地域生活のニーズに対応できる売り場づくりを進めていた効果もあり、行動制限による内食・中食需要や巣ごもりニーズを取り込むことができました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高に営業収入を加えた営業収益は、298億94百万円(前年同四半期比18.0%増)となり、営業利益は15億78百万円(前年同四半期比433.1%増)、経常利益は15億25百万円(前年同四半期比510.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は10億31百万円(前年同四半期比673.1%増)となりました。

なお、当社グループは、小売事業の割合が高く、小売事業以外の事業に関しては重要性が乏しいと考えられるため、セグメント情報の記載を省略しております。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ40億67百万円増加し、706億78百万円となりました。これは主に現金及び預金並びに売掛金が増加したことなどによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ34億4百万円増加し、463億5百万円となりました。これは主に買掛金が増加したことなどによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ6億62百万円増加し、243億72百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益を計上したこと、配当金の支払いにより利益剰余金が減少したことによるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

政府の緊急事態宣言は全国で解除されたものの、新型コロナウイルス感染症の収束への見通しはたっておりません。また、世界経済の停滞とともに国内景気の低迷も懸念され、経済活動や社会活動の回復速度も不透明であり、所得減少への不安から節約志向も高まるものと考えられます。

一方で、外出自粛要請が生み出した新たな生活形態による内食・中食需要は継続され、在宅率が高止まることによる生活必需品の需要は続くものと考えております。

ただし、自粛需要の反動懸念や、販促活動の制限及び店舗改装等の投資活動への影響が長期化する可能性もあるなど、プラス要因とマイナス要因が混在する中で、合理的な予想金額を算出することは非常に困難な状況であります。

従いまして、2021年2月期第2四半期(累計)及び通期の連結業績予想並びに配当予想につきましては未定とさせていただきます、業績予想の公表が可能となった段階で改めて公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,813	8,224
受取手形及び売掛金	1,483	2,049
商品	10,684	10,537
その他	1,278	1,130
流動資産合計	17,260	21,941
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	12,352	12,138
土地	15,024	15,024
その他(純額)	2,144	2,080
有形固定資産合計	29,520	29,242
無形固定資産	1,597	1,566
投資その他の資産		
敷金及び保証金	14,422	14,283
その他	3,805	3,642
投資その他の資産合計	18,227	17,925
固定資産合計	49,346	48,734
繰延資産	4	2
資産合計	66,611	70,678
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	8,465	12,375
短期借入金	16,451	15,106
未払法人税等	193	415
賞与引当金	292	760
その他	3,839	3,799
流動負債合計	29,242	32,456
固定負債		
長期借入金	9,892	10,238
退職給付に係る負債	15	16
資産除去債務	583	585
その他	3,167	3,010
固定負債合計	13,658	13,849
負債合計	42,900	46,305
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	9,946	9,946
資本剰余金	9,829	9,829
利益剰余金	4,142	4,829
自己株式	△292	△292
株主資本合計	23,625	24,312
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	84	60
その他の包括利益累計額合計	84	60
純資産合計	23,710	24,372
負債純資産合計	66,611	70,678

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)
売上高	23,644	28,107
売上原価	15,881	19,060
売上総利益	7,762	9,047
営業収入	1,680	1,786
営業総利益	9,442	10,834
販売費及び一般管理費	9,146	9,256
営業利益	296	1,578
営業外収益		
受取利息	10	8
受取配当金	4	4
債務受入益	17	—
貸倒引当金戻入額	0	—
その他	4	13
営業外収益合計	36	25
営業外費用		
支払利息	75	74
その他	6	3
営業外費用合計	82	77
経常利益	250	1,525
特別損失		
固定資産除却損	2	24
段階取得に係る差損	23	—
特別損失合計	25	24
匿名組合損益分配前税金等調整前四半期純利益	224	1,501
匿名組合損益分配額	△16	△6
税金等調整前四半期純利益	241	1,507
法人税、住民税及び事業税	66	383
法人税等調整額	40	93
法人税等合計	107	476
四半期純利益	133	1,031
親会社株主に帰属する四半期純利益	133	1,031

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)
四半期純利益	133	1,031
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1	△24
その他の包括利益合計	1	△24
四半期包括利益	135	1,007
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	135	1,007

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、「小売事業」の割合が高く、開示情報としての重要性が乏しいことから、セグメント情報の記載を省略しております。